

医薬品のスポーツ転用は、絶対に許されない！

パフォーマンスを上げるための医薬品の誤った使い方は、スポーツの精神に反し、あなたの身体を傷つけます。

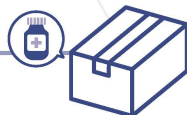
近年トップアスリートに限らず、トレーニング愛好家によるアナボリックステロイドや成長ホルモン（IGF-1等）といった筋肉増強剤の乱用が懸念されています。医薬品の不適切な使用は、違法薬物の使用と同様に様々なリスクを負うことになります。

✓ 筋肉増強剤のリスクとは？



深刻な副作用

筋肉増強剤アナボリックステロイドは、心疾患、肝機能障害、性機能障害、倦怠感、ムーンフェイス、女性化乳房、ニキビ、抜け毛などの副作用が報告されており、やめた後も後遺症による悪影響があります。



医薬品の安全性

日本では、**筋肉増強目的で薬事承認されている医薬品はありません**。インターネット等を通じて筋肉増強剤を個人輸入する場合、副作用に加えて、偽造品・不良品による健康被害のリスクもあります。



情報の信頼性

筋肉増強を目的として薬剤を処方している医療機関もありますが、これらの機関のHP等は、薬物使用による効果を強調し、副作用に関する説明が不十分であることも多く、専門家からも危険性が指摘されています。

✓ それでも使う？

筋肉増強剤を含めた安易な医薬品不適切使用は、危険かつ、スポーツの価値及び自身の可能性を根底から否定する行為です。違法薬物（危険ドラッグ等）の使用と同様に絶対にやめましょう。

スポーツ庁と日本製薬団体連合会は、令和6年7月9日に「スポーツにおける医薬品の不適切使用の防止に関する共同宣言」に調印し、スポーツにおける医薬品の不適切使用の防止について、関係機関と連携して様々な情報発信等を行うこととしています。



スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

▼ 詳しくは特設サイトへ

スポーツの医薬品不適切使用防止

